

## 第 115 回シンポジウム

### 「アルミニウム合金の連続鋳造技術」

アルミニウムおよびアルミニウム合金展伸材の連続/半連続鋳造は、その後の押出/引拔/圧延/鍛造などの加工工程を経た最終製品の内部品質や物理的特性を造り込む極めて重要なプロセスです。そのため、軽金属学会では、過去から当該技術に関するシンポジウムを実施してきました。今回のシンポジウムは、近年になって開発・操業化へと進んだ新しい技術と、また、旧来の技術ではありますが、その製品の用途が変貌しつつある技術を抽出し、それぞれに精通する技術者や専門家にお話をいただきます。なお、一部の講演はインターネットを経由したWEB講演で実施させていただきます。本分野に関心のある、多数の皆様のご参加をお待ちしています。

主催：一般社団法人軽金属学会  
後援：公益財団法人軽金属奨学会

協賛：日本アルミニウム協会，日本マグネシウム協会，日本チタン協会，日本金属学会，日本鉄鋼協会，日本材料学会，日本機械学会，日本塑性加工学会，日本鍛造協会，日本鋳造工学会，日本顕微鏡学会，軽金属製品協会，軽金属溶接協会，資源・素材学会，自動車技術会，日本ダイカスト協会，溶接学会，粉体粉末冶金協会，日本航空宇宙学会，日本複合材料学会，日本鉄道車輛工業会（依頼中）

日時：2021年1月22日（金） 10:00～17:00

会場：貸教室・貸会議室 内海 3F 教室（〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町 3-6-15 東京学院ビル）

交通：JR 総武線 水道橋駅西口 徒歩 1 分

定員：70 名

参加費：正会員 10,000 円，維持・協賛学協会員 15,000 円 学生会員・協賛学協会学生会員 1,000 円  
非会員 20,000 円 学生非会員 6,000 円

※参加費の振込方法（銀行振込または郵便振替，請求書発行の要不要）は申込画面で指定してください。

※振込先の詳細は参加申込受付メールでご案内します。

申込方法：軽金属学会ホームページ：<http://www.jilm.or.jp/>よりお申込下さい。

問合せ先：一般社団法人軽金属学会（〒104-0061 東京都中央区銀座 4-2-15 Tel：03-3538-0232 Fax：03-3538-0226）

プログラム：

10:00～10:05	開会の挨拶	企画委員会
10:05～10:55	1. 主な連続鋳造方法と技術概論 アルミニウム合金の各種連続鋳造方法とその特徴について紹介する。	株式会社神戸製鋼所 技術開発本部 プロセス技術センター 森下 誠
10:55～11:10	休憩	
11:10～12:00	2. 半連続鋳造(1) ハイドロ社の押出ビレットの鋳造技術（WEB講演） Low pressure casting (LPC)と呼ばれる新しい DC 鋳造技術，またその技術を用い製造された押出ビレット製品を紹介する。	ハイドロアルミニウムアジア カスタマー技術サポート 斉藤 健
12:00～13:00	昼食	
13:00～13:50	3. 半連続鋳造(2) 可変断面小径連続鋳造棒の開発 独自の製法でつくる小径連続鋳造棒 TG-bar <sup>TM</sup> は，鍛造用の素材として使用されている。この手法を発展させ，鍛造歩留りの向上を目的に，素材長手方向に径が変化する可変断面小径連続鋳造棒の製作にトライした結果と課題を紹介する。	三協立山株式会社 三協マテリアル社 技術開発統括室 基盤技術部 土肥 正芳
13:50～14:00	休憩	
14:00～14:50	4. 連続鋳造(1) 連続鋳造圧延(プロペルチ法)による荒引線製造とその利用方法 連続鋳造圧延（プロペルチ法）による荒引線の製造方法と荒引線を利用した加工を実例を踏まえて紹介する。	アルミニウム線材 生産課 松島 博実
14:50～15:00	休憩	
15:00～15:50	5. 連続鋳造(2) ノベリス鋳造技術の解説（ノベリス PAE より一部 WEB 講演） -Novelis PAE の CC（高速薄肉用連鋳機）の説明 -CC 材が適している分野での課題と解決策	ノベリス PAE 日本総代理店 (榊美藤) 技術顧問 向田 隆章 セールスマネージャ 藤江 厚盛
15:50～16:00	休憩	
16:00～16:50	6. 鋳造時の割れおよび変形予測のための熱応力解析と構成式の構築 鋳造時における割れや変形予測の研究について世界動向の紹介と固液共存状態の構成式の構築例を紹介する。	早稲田大学 教授 吉田 誠
6:50～17:00	閉会の挨拶	企画委員会

（世話人：日本軽金属株式会社 鈴木 雄詞，株式会社 TYK 大島 智子，三協立山株式会社 安田 英司）